

「デコ活」（脱炭素につながる 新しい豊かな暮らしを創る国民運動） 推進事業

令和7年11月13日（木）

事務局説明資料

○ 事業の概要

「デコ活」（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）推進事業（環境省）

【事業概要】

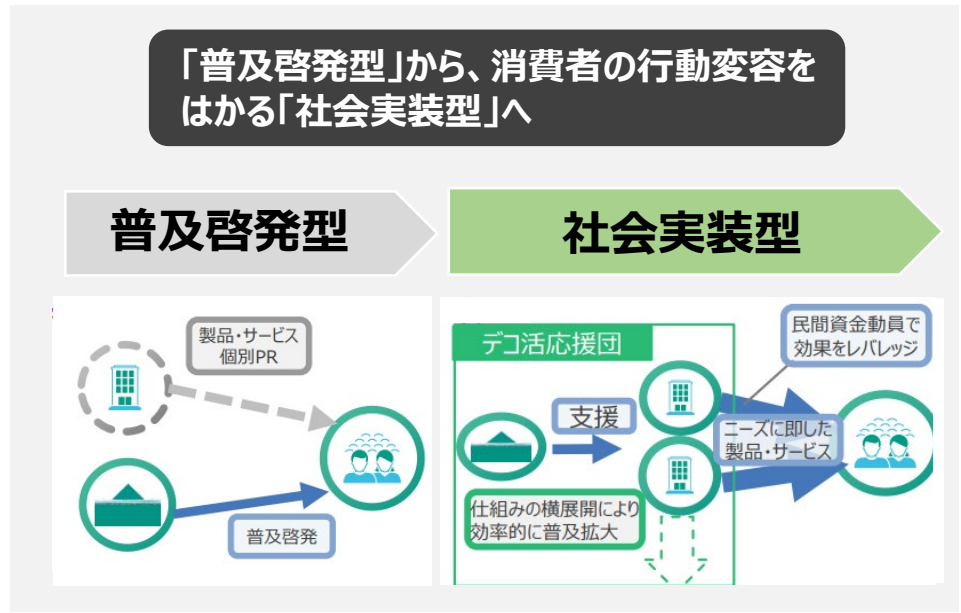
「デコ活」の推進を通じて、国民・消費者の行動変容を促し、2030年度に2013年度比46%削減及び2050年カーボンニュートラルを実現することを目指す。そのため、①「新しい豊かな暮らし」を支える製品・サービスを社会実装するためのプロジェクトの展開、②地球温暖化対策推進法に基づく普及啓発推進、③脱炭素型ライフスタイルへの転換に向けた検討・検証等を実施する。

【予算額】

令和8年度概算要求：30.8億円（令和7年度当初予算：31.7億円）

【負担割合】

・事業形態 委託事業・間接補助事業：補助率 定額（1/3相当）
（②地球温暖化対策推進法に基づく普及啓発推進等については、補助率 5/10）



①「新しい豊かな暮らし」を支える製品・サービスを社会実装するためのプロジェクトの展開

- ・デコ活応援団（官民連携協議会）の運営
- ・社会実装型プロジェクトの展開

②地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく普及啓発活動

- ・全国地球温暖化防止活動推進センター（デコ活ジャパン）による普及啓発等
- ・地域地球温暖化防止活動推進センター（デコ活ローカル）による普及啓発等

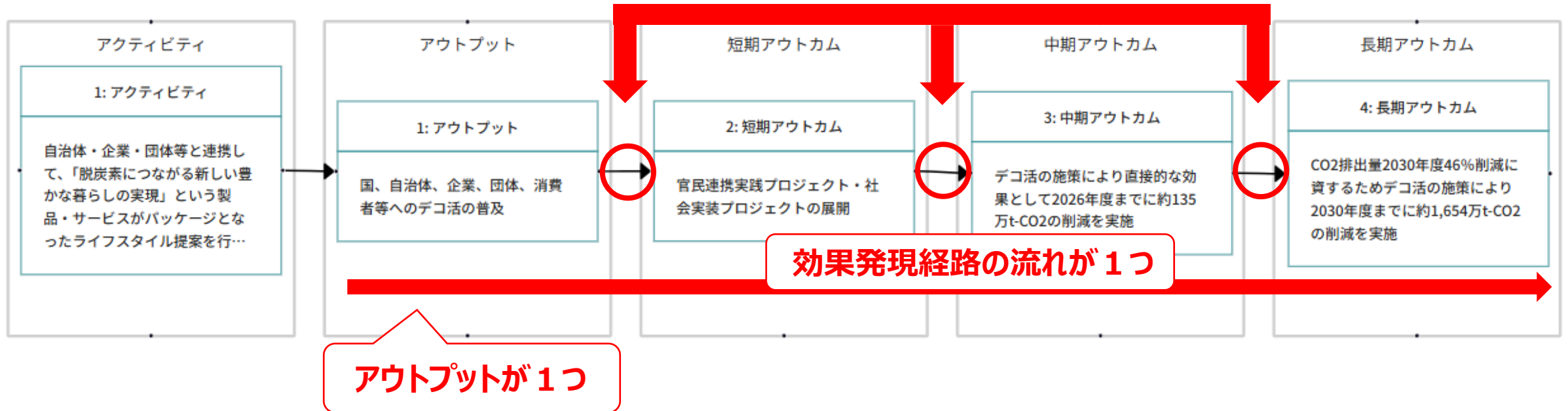
③脱炭素型ライフスタイルへの転換に向けた検討・検証

- ・ナッジに係るこれまでの成果の検討等
- ・脱炭素型ライフスタイルへの転換に向けた検討・検証等

○ 「デコ活」推進事業 効果発現経路 (KPI)

- 社会実装型の取組の推進、普及啓発活動等、**事業メニューが複数ある**なかで、アウトプットが一つしか設定されておらず、**アウトプットから長期アウトカムまでの流れが一つしかない。**
- 「デコ活の普及」が「プロジェクトの展開」を促進し、更に「CO₂の削減」につながるという**ロジックモデルは本事業の政策効果のつながりの説明として適切か。**

【活動・成果目標等のつながり】



○ 「デコ活」推進事業 効果発現経路 (KPI)

- 短期アウトカムの「プロジェクトの展開」は政策効果を測るための目標・指標ではなく、政策の実施した結果なのではないか。
- 中期アウトカムの「本事業による直接的なCO₂排出量」はどのように定量的に把握しているのか。
- 長期アウトカムの「本事業による波及効果を含めたCO₂排出量」は、定量的に把握することができるのか。
- 本事業は、普及啓発にとどまらない支援を行うこととされているが、普及啓発にとどまらない効果はどう把握・評価できるのか。

	活動目標・成果目標	活動指標・成果指標
アウトプット	国、自治体、企業、団体、消費者等へのデコ活の普及	国、自治体、企業、団体、消費者等へのデコ活普及の活動実施数（デコ活応援団参加者数・累計）
短期アウトカム	官民連携実践プロジェクト・社会実装プロジェクトの展開	官民連携実践プロジェクト・社会実装プロジェクトの組成数・補助金応募件数（累計）
中期アウトカム	デコ活の施策により直接的な効果として2026年度までに約135万t-CO ₂ の削減を実施	本事業による直接的なCO ₂ 排出削減量（累計：令和6年度～）
長期アウトカム	CO ₂ 排出量2030年度46%削減に資するためデコ活の施策により2030年度までに約1,654万t-CO ₂ の削減を実施	本事業による波及効果を含めたCO ₂ 排出削減量（累計：令和6年度～）

- 普及啓発にとどまらない政策効果（国民の行動変容等）

「短期アウトカム」の指標とすべきか。

どのように定量的に計測しているのか。

波及効果をどのように定量的に計測できるのか。

○ 具体的な取組の支援状況について

- レビューシート上、**本事業のCO₂の排出削減の成果（波及効果含む）**について、**直近の目標値も実績値も**示されていない。
- 普及啓発活動や社会実装型取組等の**事業の成果を事業の執行中・執行後に適切に把握できているのか。**

【中期・長期アウトカム】

中期 アウトカム	デコ活の施策により直接的な効果として2026年度までに約135万t-CO ₂ の削減を実施	本事業による直接的なCO₂排出削減量 (累計：令和6年度～)						
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度				
当初見込み／目標値(万t-CO ₂)		—	—	135				
活動実績／成果実績(万t-CO ₂)		—	—	—				
長期 アウトカム	CO ₂ 排出量2030年度46%削減に資するためデコ活の施策により2030年度までに約1,654万t-CO ₂ の削減を実施	本事業による波及効果を含めたCO₂排出削減量 (累計：令和6年度～)						
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
当初見込み／目標値 (万t-CO ₂)		—	—	—	—	—	—	1,654
活動実績／成果実績 (万t-CO ₂)		—	—	—	—	—	—	—

最終的な目標値以外、
毎年度の目標値がない。

毎年度の実績がない。

○ 長期的な脱炭素の目標と実績について

● **消費者に近い業務その他部門、家庭部門、運輸部門、非エネルギー起源CO₂の排出削減・吸収量は、2030年度目標に近づきつつも、未だ目標値を達成しておらず、2040年度目標に向けて加速度的な対応が必要。**

【温室効果ガス別の排出削減・吸収量の目標・目安】

(単位：100万t-CO₂、括弧内は2013年度比の削減率)

	2013年度実績	2023年度実績 (2013年度比)	2030年度目標 (2013年度比)	2040年度目標 (2013年度比)
温室効果ガス排出量・吸収量	1,395	1,017 (▲27%)	760 (▲46%)	380 (▲73%)
エネルギー起源CO ₂	1,235	922 (▲25%)	677 (▲45%)	約360~370 (▲70~71%)
産業部門	463	340 (▲27%)	289 (▲38%)	約180-200 (▲57~61%)
業務その他部門	235	165 (▲30%)	115 (▲51%)	約40-50 (▲79~83%)
家庭部門	209	147 (▲30%)	71 (▲66%)	約40-60 (▲71~81%)
運輸部門	224	190 (▲15%)	146 (▲35%)	約40-80 (▲64~82%)
エネルギー転換部門	104	79.6 (▲23%)	56 (▲47%)	約10-20 (▲81~91%)
非エネルギー起源CO ₂	78.8		70 (▲15%)	約59 (▲29%)
メタン (CH ₄)	32.6	112 (▲15%)	29.1 (▲11%)	約25 (▲25%)
一酸化二窒素 (N ₂ O)	19.7		16.5 (▲17%)	約14 (▲31%)
代替フロン等4ガス	28.9	37.0 (+28%)	20.9 (▲44%)	約11 (▲72%)
吸収源	-	▲53.7	▲47.7	▲約84
二国間クレジット制度 (JCM)	-		官民連携で2030年度までの累積で1億t-CO ₂ 程度の国際的な排出削減・吸収量を目指す。我が国として獲得したクレジットを我が国のNDC達成のために適切にカウントする。	官民連携で2040年度までの累積で2億t-CO ₂ 程度の国際的な排出削減・吸収量を目指す。我が国として獲得したクレジットを我が国のNDC達成のために適切にカウントする。

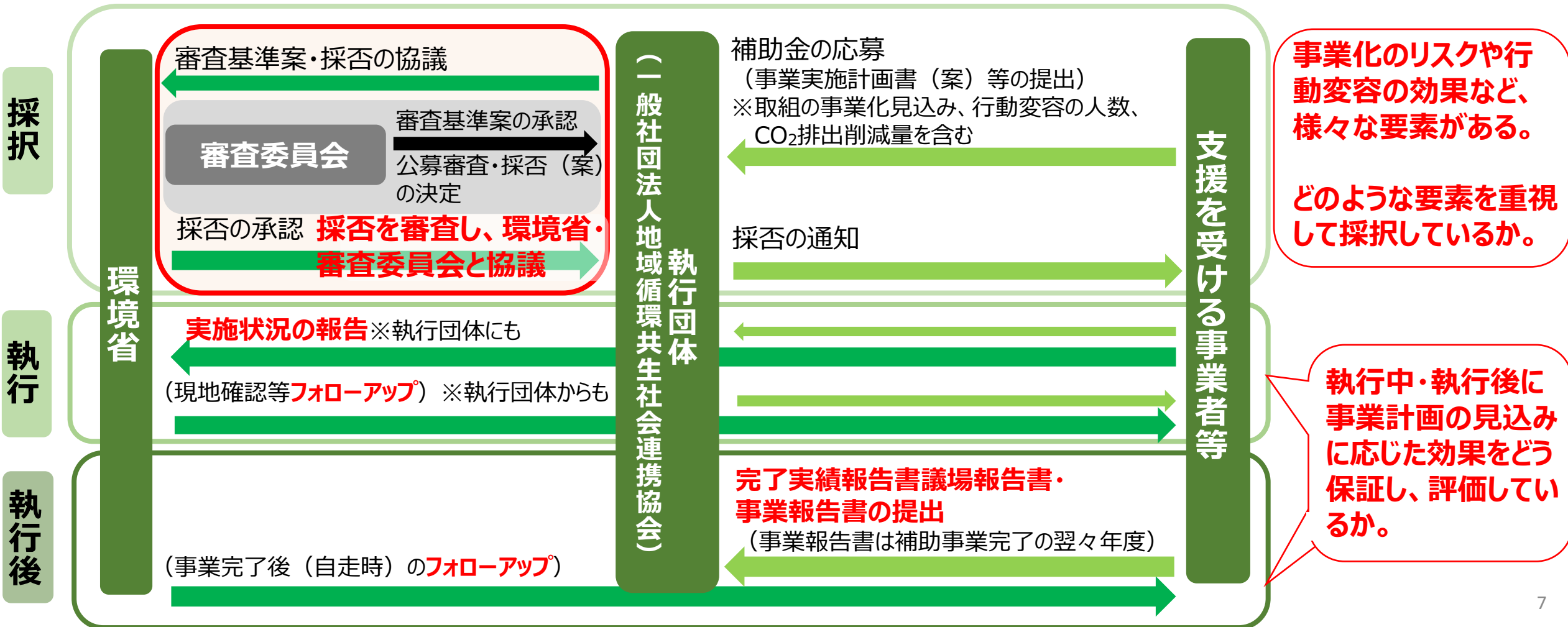
※1 2030年度のエネルギー起源二酸化炭素の各部門は目安の値。

※2 2040年度のエネルギー起源二酸化炭素及び各部門については、2040年度エネルギー需給見通しを作成する際に実施した複数のシナリオ分析に基づく2040年度の最終エネルギー消費量等を基に算出したもの。

(出典) 環境省資料 (地球温暖化対策計画の概要、温室効果ガス排出量及び吸収量算定結果等) を基に作成

○ 社会実装型取組の採択について

- 事業化、行動変容、CO₂排出削減量等を含む**事業実施計画等を踏まえ、どのように事業目的である「社会実装」を達成する取組を採択**しているか。
- 事業実施計画の見込みについて、**見込みに応じた効果が発現しているか、事業の執行中・執行後に確認**できているか。



主な論点

「デコ活」（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）推進事業（環境省）

- 本事業は、社会実装型取組の展開等、複数の事業メニューで構成されているところ、本事業の事業の成果を正確に評価・検証できるようなアクティビティやアウトカムや長期的な事業目的を見据えたロジックモデルが適切に設定されているか。
- 本事業の社会実装型取組は、個別の分野・製品・サービスの一時的なプロモーションとどのように異なり、どのような状態を「社会実装」として達成することとして目的としているのか。また、長期的な脱炭素目標を見据え、本事業の取組を通して国民の行動変容が達成し、支援後もその成果が持続的に発展するような取組を採択しているか。
- 委託事業者を通じた普及啓発活動や執行中の社会実装型取組の進捗状況・社会実装の状況を十分に把握し、補助終了後には、本事業の成果や本事業による脱炭素効果を定量的に計測・把握し、評価しているか。